

INPUT

エネルギー

購入電力	204,996 MWh
再エネ自家発電量	483 MWh
ガソリン	3,326 kl
軽油	5,671 kl
灯油	656 kl
A重油	3,725 kl
B・C重油	0 kl
都市ガス	1,903 千Nm ³
LPG	3,959 t
LNG	1,779 t
カーボンニュートラル都市ガス	7,170 千Nm ³
カーボンニュートラルLPG	284 t
コークス	0 t

物質

〈主要鋼材〉鋼材など	1,902 kl
〈副資材〉油脂類	

水資源

純水資源投入量	765,371 m ³
水道水	550,971 m ³
工業用水	84,764 m ³
地下水	129,636 m ³
雨水	20,778 m ³
海水	120,230 m ³

PRTR法第一種指定化学物質

	1,117 t
--	---------

物流エネルギー

車両・船舶用燃料	3,772 kl
----------	----------

事業活動

開発・設計

- Ecology&Economy
- 環境指向商品の開発

資材調達

- 化学物質の削減
- グリーン調達

生産

- 地球温暖化防止(省エネ)
- 廃棄物削減
- 有機化学物質の削減
- 地下埋設配管の調査
- PCB使用機器の調査・保管・処分

工場内循環資源

- 原料
- 水

物流

- 梱包資材の削減
- 低公害車の導入

販売・サービス

- 環境指向商品の提供

使用

- 適正使用、環境情報の提供

回収・解体

- FRP廃船リサイクル
- 廃棄時のリサイクル容易化設計

OUTPUT

大気への放出

CO ₂	139,135 t-CO ₂
NO _x	281.5 t
SO _x	7.4 t
ばいじん	2.1 t
PRTR対象物質	566 t

水域への放出

公共用水域	206,662 t
下水道	450,010 t
BOD	17.4 t
COD	5.8 t
T-N	11.2 t
T-P	0.9 t

廃棄物の発生と処分

総発生量(有価物除く)	35,499 t
有価物	13,885 t
廃棄物のリサイクル(有価物除く)	23,362 t

物流大気への放出

CO ₂	10,077 t-CO ₂
-----------------	--------------------------

製品

生産台数	489,226 台
生産馬力	22,156 千PS

■ 算出方法

(1) CO₂排出量

使用した電力や燃料の「CO₂排出係数」を乗じて算出。「CO₂排出係数」は「地球温暖化対策推進法」の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを参考にしました。ただし、電力のCO₂排出係数は毎年、各電力会社における発電方法の割合により変動します。

(2) SO_x排出量

使用した重油と軽油に「比重」および「S含有率」を乗じて算出

(3) NO_x排出量

焼焼施設の排ガス測定データから計算

(4) PRTR法第一種指定化学物質

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」の規定に基づいて算出

■ 対象範囲

製造事業： ヤンマーパワーテクノロジー 7工場(びわ、木之本、大森、長浜、伊吹、尼崎、塚口)
ヤンマーキャストテクノ 2工場(甲賀・松江)、ヤンマーマリンインターナショナルアジア、ヤンマーアグリ 3工場(岡山・高知・鹿児島)、ヤンマーエネルギーシステム製造 2工場(西大寺・福岡)、ヤンマー建機、神崎高級工機製作所

非製造事業： ヤンマーホールディングス 本社・東京支社・中央研究所・バイオイノベーションセンター
ヤンマーグローバルエキスパート ヤンマーミュージアム・グローバル研修センター、ヤンマーパワーテクノロジー 小形事業部試験部、ヤンマーマリンインターナショナルアジア マリン生産部
ヤンマー船用システム、ヤンマー建機(販売拠点)、ヤンマーエネルギーシステム、ヤンマー沖繩、ヤンマーマルシェ、ヤンマーエンジニアリング、ヤンマーシンビオシス、ヤンマー情報システムサービス、ヤンマーロジスティクス

備考： ■ ヤンマーパワーテクノロジー 単体データ

■ ヤンマーグループ 製造事業データ

■ ヤンマーグループ 特定荷主データ(ヤンマーパワーテクノロジー、ヤンマー建機)